

都市再生整備計画 事後評価シート
小田急相模原駅周辺地区

令和6年3月

神奈川県座間市

様式2-1 評価結果のまとめ

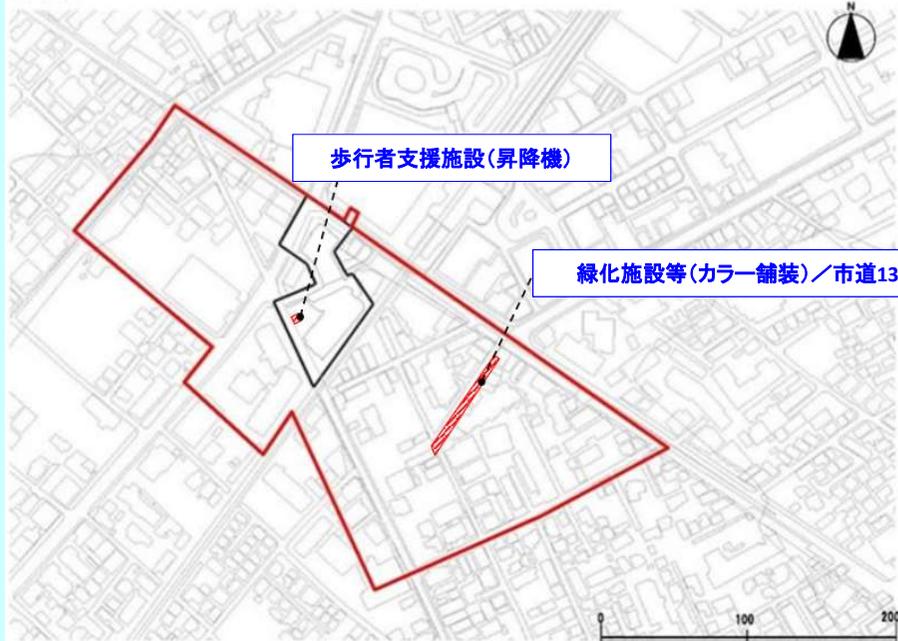
都道府県名	神奈川県		市町村名	座間市	地区名	小田急相模原駅周辺地区			面積	5.3ha				
交付期間	平成30年度～令和4年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	68.3百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	高質空間形成施設 ・カラー舗装(市道136号線) 歩行者支援施設 ・昇降機(エレベーター)											
		提案事業	まちづくり活動推進事業 ・ワークショップの開催											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			道路 ・市道相模134号線 ・市道相模135号線 ・市道相模139号線 地域生活基盤施設 ・人工地盤(立体遊歩道)			・計画の見直しにより、市単独事業として整備することにし、関連事業に移行したため。			指標1～指標3に関するが、数値目標は据え置く。					
		道路 ・主要生活道路(新設) 地域生活基盤施設 ・公開空地①(相模原・二ツ塚線沿歩道状空地) ・公開空地②(町田・厚木線、辰街道沿歩道状空地) ・人工地盤(立体遊歩道) ・情報板設置(案内板)			・計画の見直しにより、事業を取りやめた。									
		提案事業	—			—			—					
	新たに追加した事業	基幹事業	—			—			—					
		提案事業	—			—			—					
	交付期間の変更	当初	平成30年度～令和3年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更	平成30年度～令和4年度		事業、指標、数値目標への影響なし									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	交通事故発生件数の減少	件	62	H28	58	R4	モニタリング	評価値	66	×	あり なし	● ● 目標未達の理由は、計画の見直しによる事業の縮小により、効果が地区全体に波及しなかったことが想定される。	—
	指標2	道路整備の満足度	%	41.0	H29	50.0	R4			24.2	×	あり なし	● ● 目標未達の理由は、計画の見直しによる事業の縮小により、効果が地区全体に波及しなかったことが想定される。	—
	指標3	定住意識	%	56.6	H26	60.0	R4			72.4	○	あり なし	● ● 事業による生活環境の改善により、定住意識の向上に寄与しているものと想定される。	—
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
	その他の数値指標4													
4) 定性的な効果発現状況	ワークショップの開催により、地域住民との意見交換により地域の意見を計画へ取り入れることができた。													
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	都市再生整備計画事業に記載した指標1～3			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●					
	住民参加プロセス	まちづくり活動推進事業(ワークショップの開催)			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●					
	持続的なまちづくり体制の構築	—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●					

様式2-2 地区の概要

小田急相模原駅周辺地区(神奈川県座間市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
・小田急相模原駅周辺における生活機能の確保	交通事故発生件数の減少	単位: 件	62	H28	58	R4	66	R4
	道路整備の満足度	単位: %	41.0	H29	50.0	R4	24.2	R4
	定住意識	単位: %	56.6	H26	60.0	R4	72.4	R4

■位置図



事業概要

緑化施設等(歩車共存道路): 幅員4~6m 延長 77m(市道相模136号線)
歩行者支援施設: 昇降機(エレベーター)

まちの課題の変化
 ・緑化施設等(カラー舗装)と歩行者支援施設(昇降機)の実施により、生活環境が改善するなど街づくりに進展があった。
 ・アンケート結果より、住民は道路の整備状況の改善について一定の理解があるものの、まだ十分に満足できておらず、改善要望があることを確認した。今後はこうした住民の改善要望に対する対応が必要となっている。

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

- 整備したインフラの機能を維持・向上するための点検・維持管理に努める。
- アンケート結果より、住民の改善要望を把握して、必要な事業を実施していく。
- 計画の見直しにより対象外となった市道や人工地盤(立体遊歩道)などの関連事業を着実に進める。